

- Cooperative Actions for Disaster Risk Reduction - (CADRR)

ISWE4, March 4-6, 2009

U-Thant Hall & Elizabeth Rose Hall, UN University, Tokyo, Japan

各種災害リスク低減のためのシンポジウム

2009年3月4日－6日

国連大学内 U-Thant HallおよびElizabeth Rose Hall
(〒150-8925 東京都渋谷区神宮前5-53-70)

同時通訳あり

共催

国際風工学会 (IAWE) (幹事団体)
国連大学 (UNU)
国連国際防災戦略 (UN/ISDR)
アジア防災センター (ADRC)
東京工芸大学 (TPU) (幹事団体)

後援

日本風工学会 (JAWE), 日本リモートセンシング学会 (RSSJ), 日本気象学会 (MSJ), 日本火災学会 (JAFSE), 日本地震工学会 (JAEE), バイオクリマ研究会 (BCRC), 気候影響・利用研究会 (JSGCIA), 土木学会 (JSCE), 日本建築構造技術者協会 (JSCA), 日本自然災害学会 (JSNDS), 日本建築学会 (AIJ), 気象庁 (JMA), (独)国際協力機構 (JICA), 内閣府 (COGJ, 予定), 文部科学省 (MEXT 予定), 国土交通省 (MLIT, 予定), (独)土木研究所 (PWRI, 予定), (独)建築研究所 (BRI, 予定)

開催主旨

気候変動や都市の過密化、インフラストラクチャの大型化などにより、自然災害の様相も変化し、近年、深刻な被害の報告も少なくありません。特にアジア地区では、死者十万人を超える規模の災害が後を絶ちません。本シンポジウムは、様々な自然現象、気象現象によって引き起こされる人類社会への災害リスクを低減するための統括的な活動や、組織作りのための議論の場を提供し、災害リスク低減に貢献することを目的としています。本シンポジウムで対象とする災害は、強風、地震、洪水、津波、地滑り、火災、熱波など広い範囲に及びます。これらの現象や災害は互いに相関を持つものもあり、複合災害の観点からの議論が大いに必要ですし、分野を横断した国際的共同アクションの展開が強く望まれます。

プログラム

本シンポジウムは招待講演と一般講演との二つのセッションで構成されます。2009年3月4日、5日は招待講演セッションで、各国、各組織で種々の立場から災害リスク低減のための教育・研究・支援活動を行っている著名な研究者や組織の代表者を招聘し、基調講演、招待講演、およびパネルディスカッションを行います。3月6日は一般講演セッションで、各分野の研究者等から投稿された研究や事例をご講演いただき、議論がなされます。最新のプログラムは下記ホームページに掲載します。

論文募集

各分野の研究者、活動家等からの被害報告や防災対策に関する講演を募集しています。参加される方はA4版2頁の英文アブストラクトを2009年2月15日までに、シンポジウム事務局 (cao@arch.t-kougei.ac.jp) までご投稿ください。原稿フォーマットは下記シンポジウムホームページから入手できます。研究論文はもとより、設計者、技術者の方々からの具体的な事例紹介も歓迎いたします。

参加登録

下記のシンポジウム・ホームページから事前登録をお願いいたします。登録費は一般5千円、学生は無料です。ただし、レセプションディナーは別料金です。

参加申込み先 東京工芸大学 グローバルCOE支援室
〒243-0297神奈川県厚木市飯山1583
Email: gcoeoffice@arch.t-kougei.ac.jp , cao@arch.t-kougei.ac.jp
電話/Fax: 081-46-242-9658

ホームページ: <http://www.wind.arch.t-kougei.ac.jp/ISWE4/index.html>



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



International Strategy for
Disaster Reduction

